

兵庫県保険医協会神戸支部 医科・歯科連携研究会のご案内

# フレイルと医科歯科連携

日時 5月21日(土) 14時30分～

会場 兵庫県農業会館 11階 111会議室

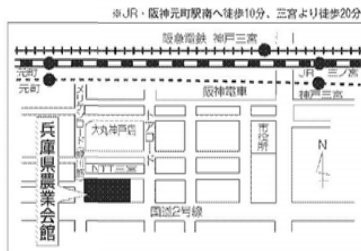
講師 医科 神戸協同病院副院長 石川 靖二先生

歯科 神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学科教授  
医療法人社団とさわ病院 歯科口腔外科部長

足立 了平先生

参加費 無料

近年、高齢者の筋肉量が減少し活動性が低下する「サルコペニア」や「フレイル」(虚弱)の予防、早期発見が大切と言われています。さらに、低栄養による「フレイル」の前段階として、歯の喪失による咀嚼や嚥下と言った口腔機能の低下といった「オーラル・フレイル」という概念が示され、「オーラル・フレイル」の予防によって、要介護、胃ろう、寝たきりへの移行を防ぐことができると考えられています。



当日は、医科・歯科の緊密な連携によってサルコペニア・フレイルを未然に防ぐにはなにが必要なのかを、医科、歯科の両分野からお話しいただきます。ぜひ、スタッフさんともお問い合わせの上、お越しください。

\*お問い合わせは TEL 078-393-1807 神戸支部担当 小西・前川まで

【参加申し込み】 FAX 返信：078-393-1820

神戸支部 医科・歯科連携研究会に ( ) 人、参加します

地区 \_\_\_\_\_ 医療機関・施設名 \_\_\_\_\_

代表者お名前 \_\_\_\_\_ 職種 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

## 兵庫県保険医協会 288号 2016年4月25日 神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

診療報酬改定研究会 神戸4会場に987人

### 複雑な新点数に質問あいつぐ

マイナス改定に抗議の決議



(上) 改定のポイントを解説する講師(26日、医科・神戸会場)  
(右) 会場は参加者でいっぱいとなった(24日、医科・神戸会場)



神戸支部は、3月24日(木)と3月26日(土)に医科診療報酬改定研究会を兵庫県農業会館で、3月20日(日)と4月3日(日)に歯科診療報酬改定研究会を兵庫県農業会館と協会会議室で開催した。医科は2会場に医師、スタッフら612人、歯科は2会場に歯科医師ら375人、合計987人(3月31日現在)が詰めかけた。参加者からは、算定要件の変更や複雑化した点数などへの質問が相次いだ。研究会はマイナス改定に抗議し、診療報酬の大幅引き上げと患者負担の軽減を求める決議を採択した。

(2面につづく)

（1面からのつづき）

研究会の冒頭では協会役員が、今次改定は薬価引き下げ分の財源を技術料に振り替えておらず、1.44%のマイナス改定になっており、病院から在宅への誘導を強引に推し進めるという内容となっていると問題点を訴えた。

その後、医科では小西達也副支部長、江原重幸・佐々木徹両支部幹事、森岡芳雄副理事長が、歯科では吉岡正雄歯科部会長ら役員が講師を務め、改定内容のポイントを解説。参加者は、マーカーをひく、付箋をはるなどして、熱心に耳を傾けた。

7対1病棟や療養病棟の要件が厳格化される一方で、患者の受け皿となる在宅医療の点数は、さらに複雑化。また、「かかりつけ医」機能を推奨するとして、認知症患者と小児に対してそれぞれ「認知症地域包括診療料」、「小児かかりつけ診療料」が新設され、包括点数が拡大している。

参加者からは、複雑化した在宅時医学総合管理料の算定の仕方や湿布薬の処方枚数の制限などについて、多数の

質問が寄せられた。

歯科では、「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所」など、高いハードルの包括点数を新設するなど、医療機関の差別化を進める内容となっている。会員からは、歯科訪問診療料の届出への疑問や、「か強診」の届出の必要性などについて問い合わせが寄せられている。

### 患者負担増ストップ！ 署名950筆

研究会では、医療費抑制と同時に政府が進めようとしている、受診時定額負担や市販品類似薬の保険外しなどの患者負担増計画についても近重民雄（24日）と武村義人（26日）両副支部長、が、解説し、吉岡正雄歯科部会長（26日、4月3日）新たな「ストップ！患者負担増」請願署名への協力を訴えた。

参加者から多数の協力があり、神戸会場で合計950筆が集まっている。

開業医手作り 月替わり健康情報	健康情報テレホンサービス ☎0120-979-451
--------------------	-------------------------------

#### 4月のテーマ

- 月曜日 子どもの食物アレルギー
- 火曜日 電動歯ブラシについて
- 水曜日 足にこむら返りが起こったら
- 木曜日 胆管がん
- 金土日 とびひ（伝染性膿痂疹）

#### 5月のテーマ

- 月曜日 目に異物が入ったら
- 火曜日 糖質制限食とは
- 水曜日 おならのお話
- 木曜日 尿失禁の治療
- 金土日 診療報酬改定で何が変わったか

## 患者さんの声を集めて ストップ！さらなる負担増

新しい署名にご協力を！

協会は、政府の計画する新たな患者負担増計画の阻止をめざし、世論を盛り上げようと、新しい「ストップ！患者負担増」署名キャンペーンを行っています。署名は7月までに3万筆を目標に集め、地元国会議員への働きかけを通じて、国会に届ける予定です。

ぜひとも多くの会員の皆さまのご協力をお願いします。



▲署名用紙

署名用紙の追加注文は、  
電話078-393-1807まで

#### 政府が計画する、さらなる負担増

- ①「かかりつけ医」以外を受診した際の追加定額負担
- ②市販品類似薬の保険外し
- ③70歳以上の高額療養費制度 上限額の引き上げ
- ④75歳以上の窓口負担の2割化
- ⑤介護保険利用料の原則2割化

#### 署名の到達状況（4月20日現在）

筆数	5351筆
会員参加率	8.93%



政府は現在、さまざまな負担増（右表）を計画しています。政府は参議員選挙で与党に不利な材料になるとして、争点化しない姿勢ですが、来年の通常国会で法案を成立させるとしています。

参議院選挙でこれらを争点化し、国民的な反対世論を盛り上げなければなりません。そこで、協会は全国の協会とともに4月から6月末まで新しい「ストップ！患者負担増」署名に取り組みます。

私たちの力で、政府の計画を一人でも多くの患者さんに知らせ、負担増を止めましょう。先生方の積極的な協力をお願いします。3月下旬に診療報酬改定の関連書籍に同封して署名用紙をお届けしています。まずは、先生ご自身とご家族、職員の方の署名からご返送ください。